

安全に関する改善事例

記入日: H17年 10月 21日
 (所属会社) (氏名) (連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m ³)
本河内高部ダム	長崎県	長崎県	G	28.2	158.0	53
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	コンクリートダム堤体工	墜落、飛来落下	人的要因、設備要因	上下、高所	有： <input type="radio"/> 無	
改善の概要： リフト差を1リフト以内とする打設工法 ELCM工法ではなく、柱状工法において先行・後行ブロックのリフト差を1リフト以内とする、打設工法を採用した。					特許の有無	
					有： <input type="radio"/> 無	
メリット： ・ブロック間の高低差が1.5m以内のため高所作業の危険性が低下。 ・ブロック間の昇降階段が低いため、通行がスムーズで安全。 ・工程管理が簡明で、現場作業もスムーズにできる。			デメリット： ・ブロック数が少ない場合は、打設工程が遅延しやすい。			
改善前 (略図または写真)						
無し						
改善後 (略図または写真)						
			<p>後行ブロック打設前状況 (1リフト1.5m)</p>			
			<p>施工状況 全景</p>			